

IBS Council members for 2008-2011 の選挙の投票のお願い

計量生物学会国際会員 (IBS member) の皆様

もう投票はお済みでしょうか？

IBS Council members for 2008-2011 の選挙が始まっています。(締め切り 5 月 13 日)

(http://www.magnetmail.net/actions/email_web_version.cfm?recipient_id=42121316&message_id=467880&user_id=Bostrom)。

国際学会の理事を日本から輩出することは国際学会での日本の発言権を高めるためにも必要で、IBS Council members for 2008-2011 の選挙への投票は、今後の生物統計学の発展や若手研究者の育成のためにも、重要な意味を持つと考えます。日本は国際会員の人数は多いのですが、それに比べて Council members は現在、佐藤俊哉理事 1 名と国際的には異例の低さです。この理由は日本人会員の投票率がきわめて低かったことに尽きます。

総会やニュースレターなどでもお知らせしていますように、現在、日本計量生物学会理事会では、2012 年に国際計量生物学会開催立候補に向けて取り組んでおります。国際学会を日本で開催することは、最新の国際的研究を身近で知ることができ、また、日本をアピールする、国際会議での発表の機会を増やすという学術的意義のほか、世界の一流の研究者との交流や、特に若手研究者への知的刺激を与えるという意義があるのではないのでしょうか。このためにもこれから日本人の Council members を増やし情報発信をしていくことがとても大切です。今回、理事会では松山裕氏 (MATSUYAMA, Yutaka, 東京大学)、南美穂子氏 (MINAMI, Mihoko, 統計数理研究所) を候補者として推薦しています (投票用紙 1 枚目右側上の方)。

以前、煩雑であった選挙方法も e-mail もしくは Fax で簡単にできるようになりました。**ぜひ、今すぐ、投票して下さい！** 投票の手順は以下に示しましたのでご参考下さい。

1) 添付の投票用紙をダウンロードする。

2) 候補者の名前の右側の欄にチェック (✓) もしくは (x) マークを入れて保存する。(これは PDF でも Word ファイルのままでも結構です)

※注意 **マークできる人数は 16 名までです。** 16 名を超えると無効になりますのでご注意下さい。

3)-1 e-mail の場合

IBS@CPA-CRD.COM宛に、必ずIBSに登録した氏名をe-mail本文に半角で書き込み、記入した投票用紙を添付ファイルとして、送信する。(件名 (subject) は特に指定されていませんので、"IBS Council Vote"などとしておく)

3)-2 FAX の場合

投票用紙の下のアンダーラインの部分に IBS に登録した氏名を (サインではなく print 体で) 明記して、+1.301.9139510 まで FAX する。

日本計量生物学会会長
丹後俊郎